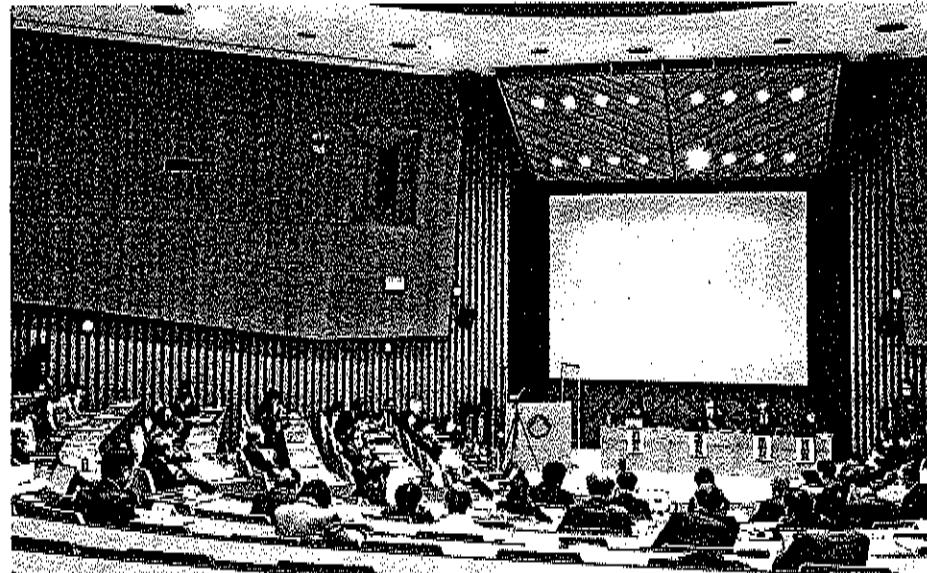


12/22
五郎

学術会議、「介入」再考求める



政府方針への対応を審議する日本学術会議総会=21日、東京・港区

日本学術会議の会員選考に第三者を介入させる法改定を来年の通常国会で国摺す政府方針に対し、日本学術会議は21日、東京都内で開いた総会で、同会議の独立性への侵害を懸念し、政府に「強い懸念」を求める声明を決定しました。

声明は、政府方針は学術 内容の詳細は示されており 会議の存在意義の根幹にふ すく、わずかな時間で慎重な れるものにもかかわらず、検討と丁寧な議論ができる

「独立性侵害」と総会声明

政府の会員選考方針

のか「強い懸念を抱」など

学術会議との意見交換や国民

表明。主な懸念事項として

との対話を欠いたまま、拙

次の点を列挙しました。

速に法改定の準備が進める

▽既に学術会議が独自に

改革を進めているもと、法

改正を必要とする理由が示

されています。専

されていない▽第三者委員

会の関与は学術会議の自律

的かつ独立した会員選考へ

信頼関係の構築が重要だと

の介入のおそれがあり、首

相による会員の任命拒否の

正当化ともつながりかねな

ねない法制化を進行するこ

い▽来年10月の会員改選に

とは、「真に取り組むべき

向け、学術会議が既に説明

課題を見失った行為」だと

責任を果たしつつ選考を進

指摘。その努力をせず学術

会議の独立性を危うくしか

ねない法制化を進行するこ

とが、『真に取り組むべき

問題を見失った行為』だと

改選法のもとで

厳しく批判しています。

次期改選を改選法のもとで

行うとして、改選時期の延長

と現会員の任期の調整を提

ていただきたい」と述べまし

示している▽学術会議の部

の編成が提起されている

が、「学問の体系」に即さ

れていない▽政治的・行政的判断に

による提案であり、「独立性」

が侵害される▽学術には政

治や経済と異なる固有の論

理があり、政府方針が強調

する「政府等との問題意識

や時間軸等を共有」できな

い場合があることが考慮さ

れていない。

われに、当事者である学